

「子ども発達支援センター・さんだ」支援
ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート

五嶋 龍 ヴァイオリン リサイタル

2014年11月20日(木)
三田市総合文化センター
郷の音ホール 大ホール

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団
社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会
理事長 片岡 實

ストラディヴァリウス チャリティー・コンサートにお越し
いただき、ありがとうございます。

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団は、1968年よ
り障害のある子どもや家庭の幸せを願って、法律や制度の枠
を超えた先駆的な福祉や療育の民間福祉活動を行ってまいり
ました。また、1980年には社会福祉法人ひょうご障害福祉
事業協会を設立して、新しいアイデアを取り入れた福祉施設
を運営しています。

兵庫県の三田で、この二つの団体が特別な支援を必要とする
子どもの療育・福祉活動を行っています。就学前の子どもの
発達を支援する三田市の「かるがも園」「すくすく教室」を
社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会が運営し、公益財団
法人ひょうご子どもと家庭福祉財団が運営する「子ども発達
支援センター・さんだ」で、「かるがも園」を卒園された子
どもや特別な支援を必要とする子どもに、各種の療育訓練、
スポーツ教室、社会生活力プログラム、保護者などの研修会
を民間福祉活動として行っております。

この度の日本音楽財団の特別協力による、「ストラディヴァ
リウス チャリティー・コンサート」のチケットの売上金は、
全額「子ども発達支援センター・さんだ」の活動に使用させ
ていただきます。

皆さまのご協力に感謝申し上げます。

子ども発達支援センター・さんだ かるがも園・すくすく教室



子どもの発達支援のための総合的で先駆的な療育活動や研修活動などをすすめています。

一人ひとりの大切な発達を援助するために

- 子ども発達支援センター・さんだ
 - 聴覚言語訓練
 - 作業療法、理学療法
 - シェルボン・ムーブメント・セラピー
 - 感覚統合療法
 - 視機能・視知覚訓練
 - 各種教室、研修会などの開催
- かるがも園・すくすく教室

子どもたちには、もって生まれたすばらしい能力があります。能力を十分に発揮して自信をもって大きく育つように個々のお子さまにあったプログラムを提供します。

子どもの発達過程でのさまざまな問題や心配に、いつでも「子ども発達支援センター・さんだ」は相談にのります。

このコンサートのチケットの売り上げのすべては、「子ども発達支援センター・さんだ」の子どもと家庭の活動に使われます。

「子ども発達支援センター・さんだ」兵庫県三田市井ノ草808番地
Tel(079)568-1955 Fax(079)560-0595 <http://www.sanda-kodomo.jp>

リサイタルによせて

五嶋 龍

本日のプログラムは、皆様に楽しんでいただけるよう18世紀後半から20世紀前半に作曲された比較的馴染みのある作品を選びました。

これらの作品と共に楽しんでいただきたいのが、ストラディヴァリウス「ジュピター」の音色です。この楽器は、日本音楽財団からお借りしている楽器で、イタリア・クレモナの巨匠アントニオ・ストラディヴァリが1722年に製作した銘器です。ジュピターのようにニックネームが付く楽器は、これまでに優れた演奏家に愛用され、また、熱心なコレクターによって300年もの間大切に守られてきました。

「ジュピター」には演奏家が表現したい音楽の内面を最大限引き出す力があります。楽器本来の未知の魅力を追いつつ自分自身のイマジネーションを融合させて音楽を作っていく過程は、僕にとって素晴らしい瞬間としか言いようがありません。「ジュピター」を初めて弾いたときは、何時間もコミュニケーションを図り、軽い弓が合うのか、それとも重い弓が合うのかといろいろ試し、様々な音の響きに出会いました。今もなお新たな発見があることに感動します。

理想的な音楽を奏でることができ、それを皆様に共感していただけたとき、演奏家として大変嬉しく思います。そして、音楽を通して少しでも社会に還元できるこのような機会を与えていただきましたことに心より感謝いたします。

PROGRAM NOTES

フリッツ・クライスラー

Fritz Kreisler

愛の喜び

Liebesfreud (1910)



オーストリア生まれのヴァイオリニスト、作曲家。4歳の時に父からヴァイオリンを学び、14歳以下は受け入れない方針だったウィーン音楽院にわずか7歳で入学し、その後12歳までパリ音楽院で学んだ。10代から国際的な演奏活動を開始し欧米で人気を博し、柔和で陽気な人柄もあってか、彼を称賛する人は多かった。クライスラーは、作曲家としてヴァイオリンのレパートリーには欠かせない数々の小品の他に、ベートーヴェンやブラームスの協奏曲のカデンツァや他楽器からヴァイオリンへの編曲なども手掛けた。それらは「クライスラー編」として現在でも愛され続けている。本日演奏される曲は、「古いウィーンの舞踏歌」3部作の1曲目で、2曲目の「愛の悲しみ」と対になっている。多くの人々に愛され続けているヴァイオリンの名曲である。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 作品96

Violin Sonata No.10 in G major Op.96 (1812)

I. Allegro moderato

II. Adagio espressivo

III. Scherzo: Allegro

IV. Poco Allegretto

ベートーヴェンは、ドイツを代表する作曲家。1798年にヴァイオリン・ソナタ第1番を手掛け、全部で10曲書いている。ベートーヴェンの代表作の多くは、1804年ごろから始まる中期に書かれており、交響曲第3番「英雄」(1804)、第5番「運命」(1808)



なども含まれる。このヴァイオリン・ソナタ第10番（1812）は、後期にさしかかる時期の作品であり、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタの中でも有名な第9番「クロイツェル」から9年も後にパトロンで弟子でもあったルドルフ大公のために書かれた。初演は、ルドルフ大公のピアノとヴァイオリニストのピエール・ロードにより行われた。10曲のヴァイオリン・ソナタの中で最も優美で穏やかな曲調となっている。

ハインリヒ・ヴィルヘルム・エルンスト

Heinrich Wilhelm Ernst

夏の名残りのバラ

The Last Rose of Summer (1864)

エルンストは、作曲家メンデルスゾーン（1809-1847）と同世代のヴァイオリニスト、作曲家。14歳の時、ニコロ・パガニーニ（1782-1840）の華麗なヴァイオリン技巧に感銘を受け、自らも超絶技巧の習得に励み、その実力はパガニーニをものいだとされている。エルンストの熱情のこもった演奏は、エルンストのピアニストを務めたことのあるメンデルスゾーンや音楽評論家等に厚く支持されていた。「夏の名残りのバラ」は、「庭の千草」として知られているアイルランド民謡の有名な旋律を変奏曲にしている。シューベルトの歌曲「魔王」をヴァイオリン独奏に編曲した「『魔王』による大奇想曲」と並ぶエルンストの代表作で、ヴァイオリンの技巧を凝らした難曲といわれている。



ジュール・マスネ

Jules Massenet

タイスの「瞑想曲」

“Méditation” from Thaïs (1898)

「瞑想曲」は、19世紀末のフランス・オペラ界で最も人気のあった作曲家、ジュール・マスネが作曲したオペラ「タイス」（1894年パリ・オ

ペラ座で初演)で演奏される楽曲である。このオペラは、4世紀のエジプトの古都アレクサンドリアが舞台となっている。修道士アタナエルが街の風紀を乱す娼婦タイスを改心させるため、神こそが永遠の愛であると説くと、真実の幸福を求めていたタイスは、悩み、瞑想し、そして聖女になる決心をする。一方、アタナエルは、タイスへの愛に気づいてしまう。アタナエルは、病を患い瀕死のタイスに駆け寄り彼女への愛を訴えるが、タイスは神へ祈りを歌いながら息絶える。間奏曲として独奏ヴァイオリンとオーケストラで演奏される「瞑想曲」は、タイスの改心を表しており、フィナーレでも演奏される。原曲版の他、ヴァイオリンやフルートとピアノのための二重奏など、室内楽編曲版でも広く演奏されている。

パブロ・デ・サラサーテ

Pablo de Sarasate

ツィゴイネルワイゼン 作品20

Zigeunerweisen Op.20 (1878)



サラサーテは作曲家であると同時にヴァイオリンの名手として有名である。1844年スペイン北部のバスク古代都市であるパンプローナに生まれ、5歳でヴァイオリンを始めた。8歳で初めて公の舞台上で演奏し、その才能から後援者を得て、後にパリ音楽院で学んだ。彼の演奏はたとえようもなく甘美で純粋な音を特徴とし、また、優れた技巧は多くの作曲家を魅了した。サン＝サーンス、ヴィエニャフスキ、ヨアヒムなど多くの作曲家が創作意欲をかきたてられ、作品を献上している。自らも作曲家として「ロマ（ジプシー）のメロディー」という意味の「ツィゴイネルワイゼン」や「カルメン幻想曲」など、現在でも超絶技巧のレパートリーでは必須である作品を作曲している。



© Universal Music

五嶋 龍

Ryu Goto (violin)

ニューヨーク生まれ。7歳でコンサート・デビュー後、ソリストとして日本国内のオーケストラはもとより、ワシントン・ナショナル交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、シドニー交響楽団、ハンブルク交響楽団、トスカニーニ交響楽団、フランス国立リヨン管弦楽団、オルフェウス室内管弦楽団、上海交響楽団、中国フィルハーモニー管弦楽団など世界各地のオーケストラと共演する。指揮者では、ロリン・マゼール、ウラディーミル・アシュケナージ、チョン・ミョンフン、ファビオ・ルイジ、レナード・スラットキンなどと、また室内楽では、ミツシャ・マイスキー、チョン・ミョンフン等と共演。

1996年より10年間にわたり、フジテレビのドキュメント番組「五嶋龍オデッセイ」で成長過程が紹介されたほか、数々のテレビ番組や海外のメディアでも特集が組まれるなど注目を集める存在となっている。2010年には、ニューヨーク市議会や同市教育委員会などと協力し、『五嶋龍“Excellence In Music”（音楽優秀賞）』をニューヨークに設立。そのほか各国での社会貢献・教育活動にも積極的に取り組む。

録音はドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、ユニバーサルクラシックスよりリリース。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1722年製のストラディヴァリウス「ジュピター」。現在、JR東日本のCMに出演。ハーバード大学（物理学専攻）を卒業。ニューヨーク在住。

公式ウェブサイト <http://www.ryugoto.com/>



© E. SHINOHARA

鳥羽 亜矢子

Ayako Toba (piano)

東京藝術大学音楽学部を経て、インディアナ大学パフォーマー及びアーティスト・ディプロマコースにて研鑽を積む。渡米後、巨匠ヤーノシュ・シュタルケル氏のアシスタントピアニストを務めた他、インディアナ大学より推薦され、ケネディーセンター・テラスシアター（ワシントンD.C.）でのミレニアムコンサート等、多数出演。2005年同大学にて、ヤーノシュ・シュタルケル、ミリアム・フリード両特別教授クラスの非常勤伴奏講師（専属クラスピアニスト）を兼任。2006年帰国。以降、室内楽演奏会、リサイタル、CD録音、NHK-FM等での共演、コンクール、オーディション等の伴奏、オホーツク紋別音楽セミナー弦楽器部門、ザルツブルク・モーツァルテウム夏期国際音楽アカデミー、ガスパール・カサド国際チェロコンクール等の公式ピアニストを務めている。これまでに、ポール・ビス、アラン・ムニエ、堤剛、マーク・コッペイ、宮田大、各氏のリサイタルでの共演、オレグ・クリサ、ピエール・アモイヤル、各氏のクラスピアニストを務めている。現在、東京藝術大学音楽学部弦楽科伴奏助手及び指揮科演奏研究員を務める。



Photo by S. Yokoyama

日本音楽財団保有
ストラディヴァリウス1722年製ヴァイオリン
「ジュピター」

Stradivarius 1722 Violin "Jupiter"

アントニオ・ストラディヴァリ（1644-1737）は、クレモナの弦楽器製作の第一人者であるニコロ・アマティ（1596-1684）の弟子としてクレモナのヴァイオリン製作の伝統を受け継ぎ、当時から今日に至るまで最も偉大な弦楽器製作者として知られている。後に二人の息子フランチェスコとオモボノも父親の後を継ぐが、ストラディヴァリ一族からアントニオを超える者はなく、現在「ストラディヴァリウス」として多くの演奏家が一度は手にしたいと憧れる名器は、アントニオによって作られたものである。彼の製作した「ストラディヴァリウス」は、音色の素晴らしさ、構造の美しさと精密さで知られている。

300年を越えて受け継がれてきた名器「ストラディヴァリウス」には、それぞれ過去の著名な所有者や楽器の特色に因んだニックネームが付けられている。本日使用するこの「ジュピター」は、1800年頃にイギリスのコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナルのニスも全体に残っている。これまでに、五嶋みどりやベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターの榎本大進等が演奏している。

楽器貸与者一覧

* 現長期貸与者（アルファベット順）

- 相曽 賢一郎
荒井 英治
* アンドレイ・バラノフ
リサ・バティアシュヴィリ
マーティン・ピーヴァー
パヴェル・パーマン
* レイ・チェン
千葉 純子
アンドリュー・ドウズ
* ヴェロニカ・エーベルレ
* パプロ・フェランダス
ユリア・フィッシャー
ヴィルデ・フランダ
藤森 亮一
藤原 浜雄
五明 カレン
* 五嶋 龍
クライヴ・グリーンズミス
* クレメンス・ハーゲン
* ルーカス・ハーゲン
* ヴェロニカ・ハーゲン
ヴィヴィアン・ハーグナー
原田 禎夫
堀米 ゆず子
ゲザ・ホッス＝レゴツキ
池田 菊衛
ジュディス・インゴルフソン
* 石坂 団十郎
磯村 和英
スティーヴン・イッサーリス
* 有希・マヌエラ・ヤンケ
神尾 真由子
樫本 大進
川井 郁子
川久保 賜紀
* セルゲイ・ハチャトゥリアン
- 木嶋 真優
小林 響
ミハイル・コペルマン
劉 薇（リュウ・ウェイ）
松本 紘佳
アン・アキコ・マイヤース
南 紫音
シュロモ・ミンツ
三浦 文彰
森下 幸路
長原 幸太
小野 明子
マンリコ・パドヴァーニ
* アリーナ・ポゴストキーナ
* スヴェトリン・ルセフ
佐藤 俊介
* ライナー・シュミット
エリック・シューマン
島田 真千子
シン・ヒョンス
庄司 紗矢香
バイバ・スクリダ
* アラベラ・美歩・シュタインバッハー
* 諏訪内 晶子
竹澤 健
竹澤 恭子
寺沢 希美
植村 奈穂
梅津 美葉
渡辺 玲子
山根 一仁
安永 徹
吉田 恭子
ニコライ・ズナイダー
ピンカス・ズーカーマン

2014年11月現在

主催：（公財）ひょうご子どもと家庭福祉財団
（社福）ひょうご障害福祉事業協会
後援：三田市
三田市教育委員会
三田市音楽協会
特別協力：日本音楽財団
協力：日本財団

表紙写真：三好英輔